



G7 広島サミットに向けて

“記憶の継承と未来の創造”

—国際平和文化都市広島の子どもたちの願い—

令和5年5月19日から21日まで、G7サミット（主要国首脳会議）が私たちの町「広島」で開催されます。ウクライナ情勢が緊迫化するなか、核兵器使用の懸念が高まり、人類存続の危機に陥りかねないという不安が世界中に広がっています。世界の平和と持続的な発展に向けた対話の場所として、「国際平和文化都市」である広島の地が選ばれました。

未来を担う広島の中学生のみなさん、被爆の実相を学び、戦争のない平和な世の中を築くために、今私たちに出来ることは何か、一緒に考えましょう。

【主催】 広島大学平和センター・石内公民館

科研費助成事業 21KK0032 (PI: L. van der Does)

【日時】 令和5年5月13日(土) 9:00～12:00

【場所】 石内公民館2階 大集会室

【講師】 大池真知子先生 (広島大学ダイバーシティ研究センター教授)

ファンデルドゥース瑠璃先生 (広島大学平和センター准教授)

中川幹朗先生 (ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会代表)

【内容】 ワークショップ『ボディマッピングアート』

ボディマッピングとは、タタミ1畳ほどの大きな紙に身体の輪郭を描き、そこにその人が体験した出来事や考え方、大切にしてきた思いなどを描き出すアートです。人生を一枚の紙に図像化することで、自分や相手への理解を深めます。今回のワークショップでは、被爆者の方々からこれまで歩んできた人生について聞き取りながら、一緒にボディマッピングを行ってみませんか。

【対象】 広島市内中学生

【定員】 20人

**【申込み】 4月21日(金)までに
石内公民館へ**

電話 941-0120

